

Linea

● 阪急ニュース・リネア ●

阪急電鉄に関するお問い合わせは、下記で受け付けております。

- 鉄道関係 阪急電鉄交通ご案内センター (平日)9:00~22:00 (土・日・祝日)9:00~19:00
TEL:0570-089-500(固定電話からは市内通話料金でご利用可能) 06-6133-3473
- 鉄道以外 阪急電鉄 広報部(広聴センター) 9:00~17:50(土・日・祝日はお休みをいただきます)
TEL:06-6373-5165 FAX:06-6373-5670
- ホームページからは 阪急電鉄 広報部(広聴センター) <https://dentetsu.hankyu.co.jp/goiken/>

本紙に掲載されているご案内等は、変更される場合があります。あらかじめご了承ください。なお、阪急ニュース・リネアは、ホームページでもご覧いただけます。 <https://www.hankyu.co.jp/>

阪急ニュース・リネアは、HANKYUとお客様とのコミュニケーションスペースです。

2021年8月

阪急電鉄では国土交通省より遵守することが求められている「鉄道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」に基づいて、新型コロナウイルス感染症対策のため、係員による車内換気を目的とした車窓開放等、各種取組を実施しております。ご利用のお客さまにおかれましても感染症対策の観点から車内・駅構内でのマスクの着用、会話を控えることへのご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染予防について

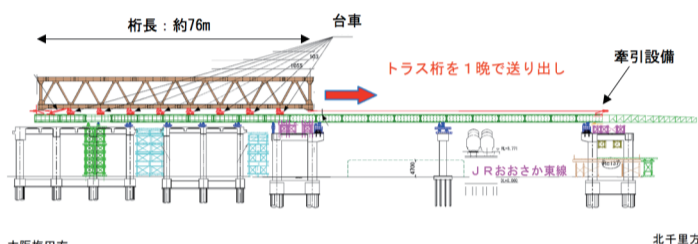
第64回 ご存知ですか? こんなこともしています。 淡路駅周辺連続立体交差工事 淡路駅周辺連続立体交差工事 JRおおさか東線交差部に長大橋が架かりました!

阪急電鉄京都線・千里線淡路駅周辺では、淡路駅を中心に京都線約3.3km、千里線約3.8kmの計約7.1kmの区間の鉄道を高架化する工事を実施しています。

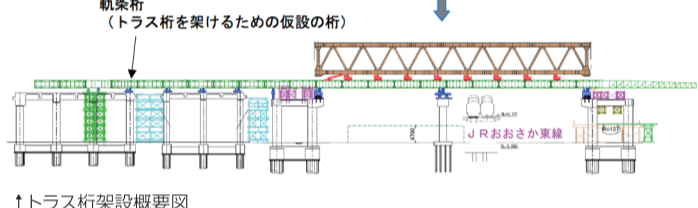
踏切による交通渋滞や事故の解消、都市交通の円滑化、市街地の一体化などを目的に、大阪市が事業主体となって進めており、**工事完成後には17箇所の踏切が廃止されます。**

また、将来の淡路駅は、下層に京都河原町・北千里方面、上層に大阪梅田・天神橋筋六丁目方面の列車が走る方向別の2層高架になる計画で、当社はこれら鉄道の高架に関わる工事を進めています。

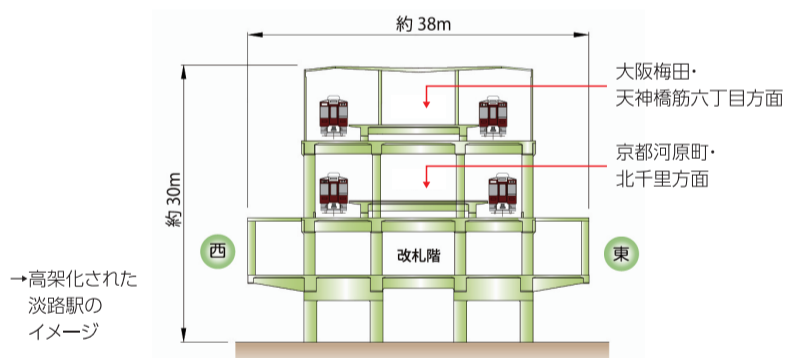
送り出し前



送り出し後



↑トラス桁架設概要図



→高架化された淡路駅のイメージ

今回、淡路駅北側の阪急千里線とJRおおさか東線が交差する箇所、上下2層のトラス桁という特殊な橋を架ける工事を行いました。**トラス桁は桁長が約76m、重量は800t以上と、これほどの大きなトラス桁を線路上空に架ける工事は前例のない大規模な工事でした。**



(全景写真(京都河原町方から))

2017年から鉄道運行の安全性確保を考慮した検討を進め、2018年に橋を架ける工事に着手しました。本工事では、周辺の工事ヤードが狭隘なため、隣接の高架橋の上でトラス桁を組み立てた後に、桁を移動させていく「送り出し工法」を採用しました(左図ご参照)。工事中は、地震等により落橋しないよう、安全対策には万全を期し、2020年7月6日夜間作業にて無事に桁の送り出しが完了しました。今年度からは、同じような工法で将来の京都線が走行する2層トラス桁を架ける工事に着手していきます。

高架化工事の完成までは長期間を要しますが、列車の安全運行を確保するとともに、近隣住民の皆様のご理解・ご協力を賜りながら鋭意工事を進めていきます。

阪急電鉄では、今後も、このような取り組みを通じて、まちづくりや交通利便性の向上に協力すると共に、工事施工中の列車運行の安全確保に努めてまいります。

「トートひろば」のホームページがオープンしました!

「トートひろば」は、阪急京都線洛西口～桂駅間の高架下に広がる約90mの開放的なオープンスペースです。事前申し込みにより有料でスペースの全部または一部を占有してご利用いただけるだけでなく、予約のない時間は休憩スペースや憩いの場としてどなたでも気軽に立ち寄りいただけます。

天候に左右されにくい高架下という立地を活かして、サークル活動やワークショップ、イベント等の開催が可能です。

この度、「トートひろば」ホームページがオープンし、ご利用予約・お問い合わせが可能になりました。

また、ホームページには「トートひろば」の魅力や活動、イベント情報なども掲載しております。ぜひご覧ください!



トートひろばHP

「阪急バリアフリープロジェクト」第三弾を公開

乗り継ぎ駅として多くのお客様にご利用いただいている阪急西院駅と嵐電西院駅ですが、両駅の改札が離れていたことや、阪急西院駅にエレベーターが設置されていなかったこと等、乗り継ぎをする際の利便性に課題がありました。

この課題を解決するため、両社が会社の垣根を越えて協力することで実現した「乗り継ぎのバリアフリー化」。立地的・時間的な制約や技術的な難題に創意工夫で立ち向かい、工事中の駅の利便性を維持しながらも、確実に工事を進めた様子をお伝えします。

詳しくは
阪急の活動
レポートを
ご覧ください。

